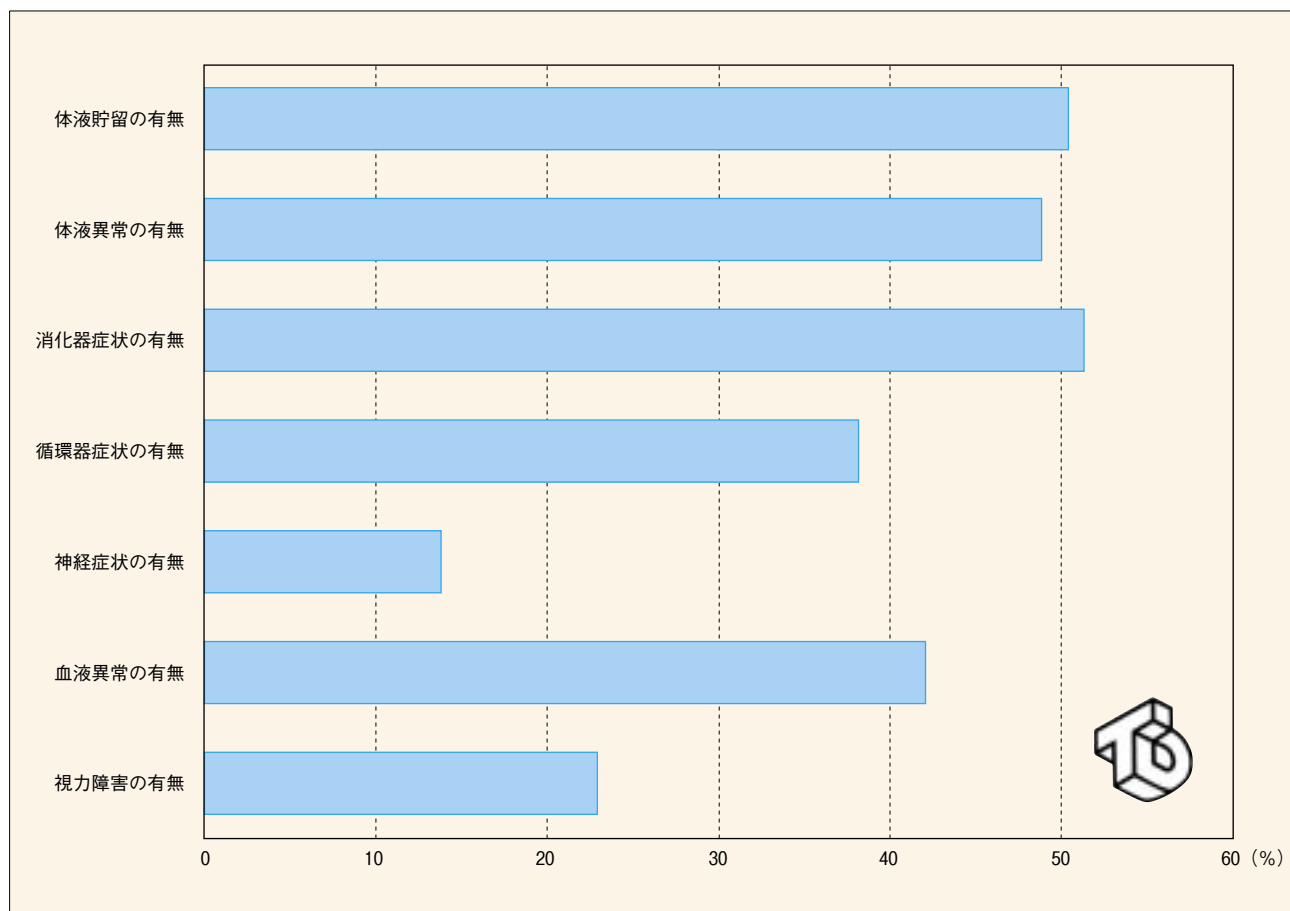


5) 新規透析導入患者の現状

(2) 透析導入時の臨床症状の有無 (図表43)



	あり	なし	合計	不明	記載なし	総計
体液貯留の有無 (%)	7,581 (50.4)	7,459 (49.6)	15,040 (100.0)	506	14,990	30,536
体液異常の有無 (%)	7,248 (48.8)	7,607 (51.2)	14,855 (100.0)	617	15,064	30,536
消化器症状の有無 (%)	7,590 (51.3)	7,206 (48.7)	14,796 (100.0)	662	15,078	30,536
循環器症状の有無 (%)	5,635 (38.1)	9,153 (61.9)	14,788 (100.0)	544	15,204	30,536
神経症状の有無 (%)	2,048 (13.8)	12,756 (86.2)	14,804 (100.0)	655	15,077	30,536
血液異常の有無 (%)	6,272 (42.0)	8,645 (58.0)	14,917 (100.0)	501	15,118	30,536
視力障害の有無 (%)	3,353 (22.9)	11,303 (77.1)	14,656 (100.0)	836	15,044	30,536

患者調査による集計

解説

透析導入時症状として、消化器症状（悪心、嘔吐、食欲不振、下痢など）、体液貯留（全身性浮腫、高度の低蛋白血症、肺水腫）、体液異常（管理不能の電解質・酸塩基平衡異常）が約半数の患者に認められ、血液異常（高度の貧血症状、出血傾向）、循環器症状（重篤な高血圧、心不全、心包炎）がそれに次いで約40%の患者に認められた。その他視力障害（尿毒症性網膜症、糖尿病性網膜症）が22.9%に、神経症状（中枢・末梢神経障害、精神障害）が13.8%に認められた。これらの頻度は前年とほぼ同様であった。